

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

# MELDIA

月刊メルディア  
VOL.35  
TAKE FREE

障がい者を  
応援

わらくや  
×  
大矢真那

福祉事業所  
探訪 屋内型農園×中野優希

福祉情報  
サイト WelSearch/ウェルサーチ

人気連載  
エッセイ 水越けいこの「M size / はじまり」

MELDIA | 2020  
NOV. VOL.35

月刊MELDIA VOL.35 2020年9月25日発行(毎月1回25日発行) 第35号 通巻35号  
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA  
GROUP

同じ家は、つくらない。



メルディアグループ  
<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計  
〒163-0632  
東京都新宿区西新宿1-25-1  
新宿センタービル32F

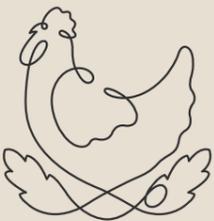
メルディアグループ  
公式Instagramアカウント  
完成事例公開中!「#メルディアグループ」で検索  
@meldia\_group



大矢 真那  
おおや まさな



障がいのある人たちが丹精を込めて生産  
安心安全な飼料で育てられた美味しい卵



ハコニワファーム  
EGG & VEGETABLE

株式会社ハコニワファーム  
栃木県真岡市下籠谷 2593-1  
TEL / 0285-81-6788  
<https://www.haconiwa.co.jp/>




遠くに雄大な山並みを望む栃木県真岡市の郊外、緩やかな丘陵地帯が広がる場所に就労継続支援A型事業所「わらくや」があります。障がいのある人たちが様々なことにチャレンジをしながら就労をしている福祉事業所です。

同所ではいくつかの就労支援事業を提供しているのですが、障がいのある人たちの特性や個性と作業の親和性に着目して行っているのが養鶏だといいます。

安心して安全な飼料を用いて健康な鶏を育てることに注力しながら、障がいのある人たちが丹精を込めて生産した「ゆいのみたま」というブランド卵の販売も展開している「わらくや」の島田利枝さんにお話を伺いました。





島田 障がいのある人たちの支援はもちろんのこと、そのご家族の気持ちに寄り添う福祉事業所を作りたいという希望がありました。それを叶える形で2015年に真岡市初となる就労継続支援A型事業所を開設しました。  
大矢 なるほど。ここの利用者さんたちの主な作業内容を教えてください。  
島田 軽作業や農業に従事する利用者さん多い



**工賃の上昇を計る取り組みは一般就労を目指す人にも寄与**  
大矢 設立当初は軽作業や農業などを行っていた、後に「養鶏業には障がいのある人たちの特性が向いている」という判断から就労継続支援事業と結び付けたとお聞きしましたが、苦心した

ますが、鶏の飼育から採卵、収穫した卵のパッキング、卵の販売などを担っている利用者さんが多いです。  
大矢 障がいのある人たちが養鶏業の全般に携わっているということですか。  
島田 そうなります。  
大矢 養鶏業の全般となると、それに関わる作業が非常に多いのではないかと思います。  
島田 その通りです。作業の種類や工程が多いので、それぞれの作業の中で利用者さんたちの得意・不得意がはつきりと分かるんです。それを私たち職員が見極めて、細かく作業の分担指示を行っています。  
大矢 利用者さんたちの特性や個性を見極めながら作業を分担してもらっているわけですね。  
島田 利用者さんごとに、いろんな個性があるわけで、もし苦手な作業があるのだとしたら、それを他の利用者さんが補います。互いに補完をしながら大きなパズルを完成させるようなイメージで作業ルーティンを組み立てています。

あなたの夢が  
私たちの目標です



株式会社ハコニワファーム  
代表取締役  
與良だいちさん  
よらだいち

株式会社ハコニワファーム / 代表取締役  
Win Graffiti株式会社 / 代表取締役  
島田利枝さん  
しまだりえ



Win Graffiti 株式会社  
栃木県宇都宮市清原台 6-26-5  
TEL / 0285-81-6030  
<https://warakuya.tochigi.jp/>



ことがあったら教えてください。  
島田 私たちが教えた作業の内容を覚えてもらえないという利用者さんもいました。そんな時には繰り返し繰り返し根気よく何度も教えるということもありました。  
大矢 障がいのある人たちが作業をするということでも工夫をしたことなどはありますか？  
島田 もし、作業の全部は習得できないとしても、一連の作業を分解して細分化するという工夫をして、一工程に絞って集中的に指導をするように心がけました。その結果、当初より格段に生産効率が高まったのと、卵の品質の向上に繋がったと思います。  
大矢 ここで生産されている卵は地元の人たち

**障がいのある人と養鶏の作業特性を活かし従事する人たち**

大矢 まず、福祉事業所を設立しようと思った経緯から教えてください。  
島田 私の父には精神障がいがありました。現在のように福祉のサポートや周囲の理解が十分でない時代だったこともあって、当事者である父も私たち家族も、とても苦勞をしました。家族に障がいのある人がいたという私自身の経験を活かして「障がいの当事者と家族のサポートをしたい」と考えていました。  
大矢 ご自身の体験が福祉事業をやるうというきっかけになったんですね。



新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。福祉事業所への訪問前に取材陣全員の健康状態の問診と体温計測を行い、手指の消毒およびうがいを行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。また取材の一部はWEB会議システムを利用したりリモート取材を行いました。(編集部)



一般財団法人メルディア

# MELDIA

おかげさまで「一般財団法人メルディア」は2017年に設立されました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

## 02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



## 04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2020年9月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対しての支援を行っています。そのうちの1人、湘南ベルマーレU-18の田中聡選手が湘南ベルマーレTOPチームへの昇格(プロ契約)が内定しました。



## ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰も人生は一度しかないものです。

### ■財団概要

名称 一般財団法人メルディア  
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)  
設立者 小池信三  
設立日 2017年5月23日

所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F  
電話 03-5381-3213  
URL <https://meldia.org/>  
MAIL [org@gf-meldia.com](mailto:org@gf-meldia.com)

MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



## 01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



## 03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにもご紹介していますので、そちらも併せてご覧ください。



## 05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。観戦チケットをご希望の方は巻末の「チケットプレゼント」のページに記載の要項をご覧ください。



©湘南ベルマーレ

※詳細はP30にてご確認ください(編集部)

その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。

## 障がい者を応援 わらわや

にすぐく評判が良いと聞いています。與良 直売所で販売している卵は早い時間に売り切れてしまうくらいの人気なんです。直売所の他に各地の飲食店などにも卸していて、そこでも「美味しい」という評価を頂いています。大矢 私が所属する事務所のスタッフが與良さんから「卵かけごはん」をご馳走して頂いたことに端を発して実現した取材ですが、その卵はとても美味しかったと聞きました。與良 「卵かけごはん」って、素直に卵の味が勝負だと思っんですね。大矢 確かにそう思います。與良 各地で「卵かけごはん」を振る舞うことで、私たちが生産する卵のことを、もっと多くの人に知ってもらって、さらに販路を拡げたいという考えがありました。大矢 なるほど。與良 販路が拡げれば必然的に生産量が増えることに繋がります。ひいては生産を担う利用者さんたちに支払う工賃(賃金)の上昇が見込めるはずだと思いました。大矢 いわゆる「高級路線」を狙ったラインナップもあるようですね。與良 元々、卵の品質には自信がありましたので、「高品質で美味しい」卵にさらに価値を付加して高価格帯商品の購買層に訴求できるようにと飼料や飼育方法にもコストをかけた卵の販売をしたいと思います。



大矢 ブランディングを行って高価格帯の卵を販売するメリットはなんですか? 與良 ブランド力を高めて販売単価を上げることでできれば、利用者さんたちに支払う工賃を上げていけるだろうと思っただけです。大矢 手間と愛情を掛けて育てた健康な鶏から生まれた卵は価値がありますね。島田 養鶏業って単なる「生産」とは違って対象が動物なので、手間と愛情を掛けてあげることが良い卵を生んでくれる鶏が育つんです。大矢 店舗で販売に従事している人たちもいるそう、養鶏場の作業も販売も周りと同じコミュニケーションをする機会が必然的に増えますね。島田 そう思います。仕事を覚えるというだけではなく、コミュニケーションを取る練習にもなっていると思います。ここで働いて自信が付いたのか、後に一般就労に繋がった人たちが今までに16人いました。大矢 すごい! 島田 単なる就労の場ではなく、ステップアップのための場でもありたいと思います。

## 取材後記

島田さんが福祉事業所を開設するに至った起源の根底には「自身の家族に障がいのある人がいた」という経験があったからだといえます。

福祉事業所として障がいのある人たちへ支援をするのはもちろんのこと、障がいのある家族を持つ人たちの気持ちに寄り添いたいという考えもあったのだと分かりました。

取材の中で「きちんと愛情を掛けてあげれば鶏も人間に懐くことがある」というお話しも伺いました。障がいのある人たちが愛情を持って育てた鶏が生んだ卵は、美味しいという評判以上に「愛」を感じる卵であることでしょう。

取材 / 大矢真那





**屋内型農園が板橋区内に開設  
都心での就労ニーズに応える**

中野 なぜ「屋内型農園」を開設しようと考えたのか、その理由から教えてください。

大塚 これまでも私たちは、障がいのある人たちを支援するために複数の屋外型農園を郊外に展開して就労機会と雇用の創出という形で支援を行ってきました。

中野 はい。以前にも本誌の取材(※)で屋外型農園に伺ったことがあります。

大塚 例えば、都心に在任していて郊外にまで通うのが大変な人、農業をやってみたいけれど都心では希望が叶わないという人、体力的に屋外での就労が難しい人などが多数いることも分かりました。そのニーズに応えようと、屋内型農園の開設を計画しました。

中野 多くのメディアでも取り上げられるなど反響が大きかったようですが？

大塚 開設の情報がリリースされると、非常にたくさんのお問い合わせをいただきました。中には、「以前に系列の屋外型農園の体験活動に行っていた」という人もいました。そこで改めて、私たちが予想していたよりも遥かに需要が高かったということが分かりました。

中野 今日も多くの人たちが体験活動や面接に訪れているようですね。

※本誌28号で「わーくはびねす農園/柏ファーム」を取材。



わーくはびねす農園 Plus 東京板橋  
東京都板橋区船渡 2-6-25  
就労希望者の問い合わせ先  
TEL / 0120-997-212  
<https://shuurou.spool.co.jp/>



新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。福祉事業所への訪問前に取材陣全員の健康状態の問診と体温計測を行い、手指の消毒およびうがいを励行しました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)

August/ 2020 OPEN

わーくはびねす農園 Plus 東京板橋



中野優希の「ユウキを出して聞いてみた」



## 都内での農業展開を叶えた屋内型農園 最新設備のスマート農園で働く人たち

障がいのある人たちの雇用創出を目的とした屋内型の農園が2020年8月初旬に東京都板橋区内にオープンしました。

農業と福祉とを繋ぐ「農福連携事業」を通して障がいのある人たちの就労増を目指す板橋区と協定を結んで開設されたそうです。

同農園を運営するエスプールプラスさんは郊外の「わーくはびねす農園」を中心に展開していて、私も以前に千葉県内にある農園に伺って取材をさせてもらったことがありました。

屋内型農園とはどんな所なのでしょうか。オープンから間もない8月下旬に現地に伺って開設の目的などと、そこで就労する障がいのある人たちにお話を聞いてきました。



中野優希Twitter / [https://twitter.com/yuuki\\_off/](https://twitter.com/yuuki_off/)





「就職をする」ということだけを目的とするのではなく、継続して仕事をしていただくためにはどうすれば良いかを常に考えて支援をしています。

大塚 まだオープンして間もないので、現時点では葉物野菜やハーブを中心に20種類くらいを栽培しています。

中野 ここで働く障がい者スタッフ(障がいのある人たち)の働きぶりなどはどうですか？

大塚 これまでに農業の経験がないという人たちもいますが、どの人もとても意欲的に仕事に取り組んでいただいていますね。自分で植えた種が初めて発芽した時に「見て見て！」って言いながら私たちの所へとても嬉しそうに持って来てくれた人もいました。

中野 働く人たちが楽しく作業ができるというのが継続して仕事をするためには重要になって来ますよね。

大塚 楽しみながら意欲的に仕事に取り組んでいただけるような環境作りと、仕事を継続してやっていくというモチベーションを皆さんに維持していただくためのサポートが私たちの役割なのだろうと思います。「就職をする」ということだけを目的とするのではなく、継続して仕事をしていただくためにはどうすれば良いかを常に考えて支援をしています。

障がい者スタッフに話を聞く  
仕事楽しい！と語る人たち

中野 どんな仕事をしている時に「楽しい」と感じますか？

Aさん 播種(種まき)作業が好きです。自分が蒔いた種が、だんだんと成長していくのを見るのが楽しいですね。

Bさん 僕も播種が好きですね。皆でチームを組んで作業するのが楽しいです。

Cさん ここに就職して初めて農業をやることになりましたが、どの作業も全部楽しいです。

中野 皆さんの表情を見ているだけでも「きっと楽しく仕事をしているんだろうなあ」というのが伝わって来る感じがします。

Aさん 皆と一緒に仕事することも楽しいんですが、自分たちが育てた野菜を収穫する時が一番やりがいを感じて嬉しそうですね。

中野 収穫した野菜を実際に自分で食べてみたことはありますか？

Bさん はい、食べてみました。家族に送ったら「美味しい！」って言うてくれました。

Aさん 僕は自分で食べてみて「きつとこの野菜はこういう食べ方が美味しいだろう」とって研究して皆さんにお知らせすることもあります。

Cさん 私は「野菜ソムリエ」になるのが夢なので、野菜のことをもっと知って勉強をしたいと思っています。



女優/タレント  
2020 ベルマーレクイーン  
**中野 優希**  
なかの ゆうき

株式会社エスプールプラス  
わーくはぴねす農園事業部  
障がい者就労支援グループ/リーダー  
**大塚春枝 さん**  
おおつかはるえ



明るいLED照明を採用し縦型の装置で栽培されている野菜たち。装置も施設も作業する人たちの安全に配慮した設計になっているそうです。



独自仕様の装置を取り入れて  
働く人たちが安全面に配慮する

中野 取材の前に施設内を見学させてもらいました。天井や棚には明るいLED照明が設置されていて、きれいな装置が整然と並んでいるところを見て、まるで近未来の「スマート農園」とでもいうような感じだなと思いました。

大塚 全部の設備が作業する人たちの安全面を第一に考えて設計されています。野菜を育てる栽培装置は当社独自仕様の「S型水耕栽培装置」を取り入れています。

中野 初めて見ました。縦長のパイプのようになっていて1本ずつ取り外せるようになっていていいですね。

大塚 この形状なら背の高さに関係なく、例えば高い所にある野菜を収穫するにしても台や脚立などを使用しないで済むようにと安全面に配慮した設計になっています。

中野 どんな野菜を栽培しているんですか？

**取材後記**

関東地区と中京地区を中心に複数の農園を開設して運営してきた同社。これまでの農園運営で得たノウハウを活かしつつ、障がいのある人たちの期待と需要に応える形でオープンした屋内型農園は明るいLED照明と最新型の水耕栽培装置を備えた施設でした。

近未来の農業を想像させる「スマート農園」ともいべき施設内で働く人たちは口々に「仕事が楽しい」と語っていました。

屋内型農園が目指す就労の新しい選択肢は既存の概念に当てはまらないスマートな支援にも繋がることだろうと思いました。



株式会社エスプールプラス  
東京都千代田区神田須田町 1-25  
JR 神田万世橋ビル 17F  
TEL / 03-6859-6555  
<https://plus.spool.co.jp/>



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

当事者・専門家たちが発信する福祉の情報サイト  
**WelSearch**

**障がいのある当事者の体験談には、その人にしか伝えられない絶対的な価値がある**

福祉の情報サイト「WelSearch(ウェルサーチ)」は、障がいのある人や福祉の

インターネットの力で、障がいのある人や福祉に携わる

福祉の情報を必要とする人に確実に届ける

WelSearchを運営する、株式会社Nextwelの代表取締役・日野

サイトを通じて伝えたいこと、これ

専門家たちが情報発信しているサイトです。誰でも無料で閲覧することが可能です。

人たちが「よりよく暮らせる」世の中になることを願い、

ことに焦点を当てて運営がなされています。

信輔さんに福祉の情報サイトを運営するようになったきっかけや、

から実現したい未来のことを伺いました。



Welsearch ウェルサーチ  
<https://welsrch.com/>



株式会社Nextwel  
神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2  
川崎フロンティアビル4階  
TEL / 044-455-5163  
https://nextwel.co.jp/

**専門家らと当事者が提供する  
より良く暮らすための情報群**

梶原 福祉の情報サイト「WelSearch (以下、ウェルサーチ)」を運営するようになったきっかけを教えてください。

日野 私たちが運営するウェルサーチを立ち上げるまでは、福祉の情報を一か所ですべて見られるサイトはありませんでした。

梶原 そうなんです。

日野 行政が出している支援に関する書類などは文章が堅くて読みづらいものでした。さらに、福祉は申請制度です。情報を知らない、本来受けられるはずの支援を受けられないんです。

梶原 後天性の障がいを持った人は、自分が支援を受けられるのかすら分からないですね。

日野 そうなんです。支援情報を多くの人に届けるために「読みやすく、理解しやすい」福祉の情報サイトを立ち上げました。

梶原 難解な「雇用制度」などに関する解説記事も読みやすく感じました。

日野 専門家記事に関しては難しい用語を噛み砕いて分かりやすく解説してもらっています。

梶原 当事者が書いた記事もありますね。

日野 障がいの当事者は、その人にしか語ることができない経験をしています。その経験談を記事として発信することで、その人にしかできない唯一無二の価値を生むことができると思います。

梶原 同じ悩みを持つ人同士で話すだけでも解決の糸口が見えるかもしれないし、それぞれにアイデアを持ち寄ることもできそうです。

日野 地域ごとに支援の特性が異なるので、他の地域の情報を得るだけでも、生きづらさを解消するヒントにはなるだろうと思います。

梶原 これからやりたいことはありますか？

日野 福祉事業所は横の繋がりが少ないというのを聞くことがあります。それらをもっと繋いでいきたいと考えています。インターネットで情報発信はしていますが、特に福祉業界は会って話すことで得られる情報も多いはずなんです。

梶原 福祉事業所同士や福祉に従事する人たちが同士をどのように繋いでいこうと考えますか？

日野 まずは、気軽に相談できるコミュニケーションを作りたと思います。それと、現在のコロナ

福祉の仕事が辛いときには、  
福祉の語源や意味を再確認して、  
自身の原点を思い出すことで  
モチベーションアップに繋げて  
欲しいと思います。

株式会社 Nextwe / 代表取締役  
日野信輔 さん  
ひのしんすけ



梶原 なるほど。

日野 ところで、梶原さんは「福祉」という言葉の語源をご存知ですか？

梶原 いいえ、知りません。

日野 実は「福」と「祉」、どちらの漢字にも「幸せ」という意味があるんです。

梶原 初めて知りました。

日野 福祉は、障がいを持つ当事者と支援者、福祉に携わる皆が幸せになる仕事です。英語では Welfare、つまり「より良く (Well) 暮らす (fare)」が福祉なんです。

梶原 サイト名や会社名にも「Well」が入っていますが、福祉に携わる人たちの幸せやより良い暮らしへの願いが込められているんですね。

**新しい生活様式で大切にする  
リアルとネットの両方の活用**

梶原 これからウェルサーチを通じて、どんなことを実現したいですか？

日野 震災や災害を想定した防災情報が足りていない状況が収束してから、地域ごとに皆で実際に集まりたいと考えています。

**障がいのある人の声を可視化  
体験の価値を最大化していく**

梶原 今後、ウェルサーチをどんなサイトに育てていきたいですか？

日野 福祉の情報サイトとして、今よりもっと誰にでも読みやすく、理解しやすいサイトを目指していきたいと考えています。

梶原 具体的にはどのようにしたいですか？

日野 視覚に障がいのある人にも読みやすいウェブアクセシビリティ(※)に配慮した画面にしたり、文字を読むのが苦手な人には動画が流れたり、多言語化にも対応していきたいです。

梶原 サイトのユニバーサル化ですね。

日野 その通りです。また、ウェルサーチは福祉業界で役に立ちたい人や横の繋がりをもちたい人など、「みんなで作るサイト」という位置付けにしています。

梶原 現在も、障がいのある人がライターとして記事を書いたりしていますよね？

日野 当事者の体験談が、必ず他の誰かの役に立ちます。その人にしか書けない文章が価値になり、仕事にもなります。

梶原 例えば、福祉事業所で福祉の現場に従事する人が記事を書いても良いんですか？

※ウェブアクセシビリティ/心身の機能に制約されずに誰でもがインターネット上にある情報にアクセスして利用ができること。

ないと感じます。東日本大震災から10年という節目を迎えるに当たり、障がいのある人のための防災情報を発信したいと思っています。

梶原 具体的にはどのように？

日野 障がいのある人が被災した時に何が困ったのか、具体的な防災準備など、被災当事者にお話を聞きながら、情報発信をしたいと思います。

梶原 当事者に聞くことで、本当に必要な支援は何なのか分かりますね。他にもサイトを通して福祉の輪が広がった事例はありますか？

日野 生きづらさを抱えた障がいの当事者や障がいを持つ子どもの親が主体となり、定期的に「オンラインお話し会」をしています。

梶原 自主開催ということですか？それはすごいパワーだと思います。

日野 そうです。会によっては支援の人が入ることもあります。会によっても私たちの側はサポートに徹するようにしています。

日野 もちろんです。福祉事業所は横の繋がりが希薄な傾向にあるようですが、事業所で働く職員同士が繋がっていくことで、何か新しい発見があるかもしれません。

梶原 こうして日野さんのお話を聞いていると、新しい生活様式に沿った、オンラインと対面とのバランスがとれ上手だなと感じます。

日野 今までリアル(現実)のイベントを開催していた福祉事業所から「オンラインイベントをやってみよう」という問い合わせや要望を頂いています。

梶原 オンラインなら相手の表情を見て話すことができますね。

日野 オンラインイベントのノウハウ提供や、開催サポート、ウェブでのイベント告知や集客のアドバイスも可能です。このような情報をもっと発信していきたいと思っています。

Interview & writing



梶原あやめ  
Ayame Sugihara

1972年生まれ、兵庫県尼崎市育ち。新卒から約15年間、建築設計に従事し、公共建築物や住宅設計の設計に携わる。全国転勤族の夫と転勤暮らしをするために、働く場所を選ばない仕事として、ライター・編集者としても活動している。一級建築士。

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。福祉事業所への訪問前に取材陣全員の健康状態の問診と体温計測を行い、手指の消毒およびうがいを行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。また取材の一部はWEB会議システムを利用したリモート取材を行いました。(編集部)

## はじまり

### 賑やかな家庭に憧れを抱いて 息子に兄弟がいると想像する

「もし息子の麗良(れいら)に兄弟や姉妹がいたらどうだったのだろう」と、思ってみることが時々あります。

私には5人の兄弟(きょうだい)がいました。両親を早くに亡くしたこともあって、その兄弟らに育ててもらったという境遇でした。この生い立ちのせいか、大人数でわいわいと賑やかな家庭に憧れがあるのかもしれない。

いつか、友人とお茶を飲みながら、そんな話をしていた時のこと。「麗良くんは兄弟や姉妹が1人いたとしたら誰を想像するの？」インスピレーションでパツと答えてみて」と聞かれたことがありました。私のイメージにすぐ浮かんだのは「穏やかで優しいお兄さん」でした。

### 新アルバムの制作で思うこと 久しぶりの作業で珍しく緊張

夏が盛りの頃から、私のニューアルバムのリリースに向けた本格的なレコーディングが再開しました。期間が空いて久しぶりのレコーディングとなったことで、多少は緊張をしていたのか、スタジオに入る前日の夜はなかなか眠りにつくことができませんでした。

今回のアルバム制作は、編曲以外の全てをセルフプロデュースしました。私にとっては初めてのチャレンジだということもあって、それが心理に影響していたのかもしれない。

こんなこともあってか、麗良がまだ幼かった頃

きっと、私が長兄にとっても可愛がってもらったことと、同じダウン症を持つ息子の友人たちに素敵なお兄さんを持っている人が多いということが影響しているのだろうと思います。

もちろん、姉たちにも可愛がってもらいましたが、同性ということでも、どこか友だちのようなニュアンスもあったので、私にとっては「お兄さん」という存在が特別で、しかも尊敬できる関係だったのかなと思います。

現実には麗良に「兄」はいません。でも、兄のように慕っている人は何人かいるのを知っています。その他にも兄弟や姉妹のようだと感じている人たちもいるだろうと思います。

私以外に「家族」がない麗良には、私は母親として息子の現在の人間関係を持続させるためと、新たな出会いができるように積極的に取り計らっていかねばいけません。

息子の事が気になって休憩の度に電話をして様子を確認するほどでした。時には不調を伝える連絡をスタジオで受けたこともあります。常にピリピリとしていて、レコーディングに集中できないこともあったくらいです。

それから数十年が経ち、息子は子どもの頃に比べれば、だいぶ健康になりました。お陰で今回のレコーディングには安心して臨むことができました。息子が健康でいられることに改めて感謝をしています。

息子が生まれる前と現在とでは私自身が理想

Keiko Mizukoshi



### シンガーソングライター 水越 けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

ニューアルバムのリリースに向けて、作詞や作曲をする時間が多くなりました。これまでの私の音楽作品のモチーフはフィクションが多かったのですが、最近はノンフィクションを取り入れることに興味があります。

今後に発表する作品には息子に向けた感情や人間愛について感じることを素直に取り入れていきたいな、と思っています。



として思い描く「シンガーソングライター像」に変化がありました。その変化の部分とは、歌詞の内容、メロディー、アートワークの在り方など、いろいろな箇所に対してです。

これは私だけに限らず誰にでもあることでしようが、自身が思い描く理想と現実とのギャップが時には大きな壁として立ちちはだかることもあります。この壁を乗り越えようと努力し、悩み、考える。その時は大変だと感じるのでしようが、これは実に人間的なことです。

悩むこと、考えること、これらは穏やかな日常と健康があるからこそできることです。まだ予断を許さない状況が続くかもしれませんが、皆さんが少しでも穏やかに過ごせるようにと祈念します。



水越けいこ「僕の気持ち」絶賛発売中!



# 布施博

FUSE HIROSHI

俳優

障がいのことにも介護のことにも  
共通なんでしょうけれど、  
「何でもひとりで抱え込まないこと」が  
重要だと思いました。

# 水越けいこ

KEIKO MIZUKOSHI

シンガーソングライター

息子という護るべき者ができた時に  
「自分が幸せを与えなければ」と  
思うようになりました。

## 苦勞をしたからこそ得 共生社会へのテーマ

はダウン症の息子さんを持つシンガーソングライターの水越けいこさんだ。かくいう僕も同財団から評議員を拝命している。僕自身のことでは、例えば認知症を抱える実母と要介護の義母との2人の介護をしてきた。家族に障がいのある人がいるのと、要介護の者がいるのでは環境が多少違うだろうが、家族をサポートしているという点では同じだ。水越さんにお話しを訊いてみることにした。

## られたものも大きかった 「介護と障がい」を考える

本誌・月刊MELDIAを発行する一般財団法人メルディアは、スポーツを行う児童と青少年の支援と、障がいのある人たちや福祉に携わる人たちを支援することを活動の理念としている。

この財団で理事を務めているの





シンガーソングライター  
水越けいこ  
みずこし

俳優  
布施博  
ふせひろし



水越 いや、苦労だと思ったことは一度もありませんでした。必死になって子育てをして、気付いてみたら、もう息子も20代半ばを過ぎたという感じでしょうか。

布施 「母は強し」だなんていいますが、そう言い切れるのはすごいなあ。

水越 息子が生まれるまでは「幸せ」って他人が与えてくれるものだと思っていました。でも、息子という護るべき者ができた時に「自分が幸せを与えなければ」と思うようになりました。だから、苦労だなんて思いませんでした。

布施 母と息子という関係でいえば、息子の僕としては、おふくろの言動にイラッとさせられる場面もありました。でも、おふくろが認知症だと診断されてからは、それまでは「普通にいてくれて当たり前」だったおふくろのことを愛おしく思え

るようになりましたね。

水越 お母さんのことを「愛おしく思う」だなんて、すごく素敵だと思います。

布施 うちの貧乏だったので、おふくろはさんざん苦労したはずですから。それと、僕が若い頃は迷惑もいっぱい掛けたし。それまでには思ったことがないような「おふくろに恩返ししたい」という気持ちが湧いてきました。それがきっかけとなって、良い環境で十分に世話をしたいと思って郊外に引っ越しました。

水越 母親からすれば、自分の子どもが「恩返しをしたい」だなんて思ってくれるだけで嬉しいはずですよ。

**ひとりで全部を抱え込まない 周囲はきつと理解してくれる**

布施 水越さんも僕も、音楽業界や演劇界で仕事をしているの、僕らが何かの情報を発信するといふのは一般の人たちが発信するより少しは多くの人たちの目に触れる可能性が高いわけです。僕らを通して世の中の人たちに何か訴えることができるのではないかと思っています。

水越 確かに、そう思います。昔からのファンの人たちだけでなく、メディアに出て私たちが何かを訴えることで「気付き」を与えることができるんじゃないかと思っていますね。

布施 これまでにも、テレビとかで僕がおふくろ

**障がいも介護も他人事でない 経験して初めて分かったこと**

布施 まず僕の話からしますが、ウチのおふくろがアルツハイマー型認知症で、妻の母親(義母)が要介護認定を受けていたので、ダブル介護の状況が長く続いていました。最初の頃は、僕も妻も介護に関しては何も知識を持ってないし、どう介護すればいいのか、どう接していけばいいのか全く分からない状態でした。

水越 家族に突然介護が必要になるという可能性はどの家庭にもありますよね。それと、ある日から突然に自分が要介護者になる可能性もあるわけで、他人事ではないんですよ。

布施 僕らだって、いつかは、もしかしたら、誰かの介護や支援が必要になる可能性も否定できないわけだし。実際それに直面してみないと分からないことっていっぱいあると思います。

水越 私の周りにはダウン症の人がいなかったの、生まれた息子がダウン症と診断された時に、どう向き合っていけばいいのか、どう育てればいいのか、分からないことだらけでした。

布施 僕の場合もそうですが、そういう時こそ周囲や専門職の人たちからの知見の提供や支援の必要性を痛感することになるわけですよ。

水越 息子の主治医であったり、支援施設の人たち、福祉事業所の職員さんたち、ヘルパーさんたち、友人や知人たち、その他にもたくさんの人た

ちを支えられてきたからこそ、今の私たち親子があるのだな、と感じます。

布施 僕も、行政からの支援や地域の人たちからの助けがあったから、ダブル介護という状況を乗り切ることができたと思います。

水越 理解してくれた人たち、手を差し伸べてくれた人たち、支援してくれた多くの人たちのお陰で「お互いに支え合っているんだ」という人(ひと)の根源というか、人の原点に触れることができたような気がします。

布施 周囲の理解と協力があったからこそ、障がいのある家族と暮らすことができるし、介護をすることもできるんですよ。

水越 そう思います。

**母親と子どもとの関係を考える 苦労を厭わないのが親である**

布施 生まれたばかりの頃の息子さんは身体が弱くて育児に苦労されたようですが？

水越 息子にはミルクアレルギーがあつて授乳ができませんでした。いかにアレルギーを起ささずに栄養補給をさせるのが課題でした。それと、息子は抵抗力が弱くてすぐに体調を崩してしまうので、体調管理には一番気を使いました。また、難病指定されている病気にもなつて、全く気が抜けませんでした。

布施 苦労されましたね。

の介護をしていることを話す機会が何度かあったんです。それを観た一般の視聴者だけでなく、親族の介護を経験したという俳優の先輩たちから励ましの言葉を掛けていただくことが多くありました。周囲の理解を得られたような気がして、すごく救われた思いがしました。

水越 息子がダウン症であることを知った人たちから声を掛けていただくことも多く、息子のことだけでなく、ダウン症のことや障がいのことを知ってもらえることで少しでも理解が進んでいけば良いなと思います。

布施 障がいのことにも介護のことにも共通なんでしょうけれど、「何でもひとりで抱え込まないこと」が重要だと思いました。これは僕がおふくろの介護を通して学んだことですね。

水越 確かにそうです。私のことといえば、私たち親子に対して手を貸してくださいと頼む人たちが大勢いました。きつと誰にでも、周囲には理解を示してくれる人、困っている人に手を貸してくれる人が必ずいます。

布施 歌や音楽が与える力って大きいですからね。縁あって僕も財団から声を掛けていただいて仕事をさせてもらっているの、僕が何か情報を発信することが少しでも世の中の役に立てたら良いなと思います。

水越 例えば、この月刊MELDIAを手にした人が、障がいのこと、福祉のことに関心を持ってもらえたら良いですよ。

ちを支えられてきたからこそ、今の私たち親子があるのだな、と感じます。

布施 僕も、行政からの支援や地域の人たちからの助けがあったから、ダブル介護という状況を乗り切ることができたと思います。

水越 理解してくれた人たち、手を差し伸べてくれた人たち、支援してくれた多くの人たちのお陰で「お互いに支え合っているんだ」という人(ひと)の根源というか、人の原点に触れることができたような気がします。

布施 周囲の理解と協力があったからこそ、障がいのある家族と暮らすことができるし、介護をすることもできるんですよ。

水越 そう思います。

**母親と子どもとの関係を考える 苦労を厭わないのが親である**

布施 生まれたばかりの頃の息子さんは身体が弱くて育児に苦労されたようですが？

水越 息子にはミルクアレルギーがあつて授乳ができませんでした。いかにアレルギーを起ささずに栄養補給をさせるのが課題でした。それと、息子は抵抗力が弱くてすぐに体調を崩してしまうので、体調管理には一番気を使いました。また、難病指定されている病気にもなつて、全く気が抜けませんでした。

布施 苦労されましたね。

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



Writer

渡邊 希望

俳優・脚本家・演出家

1988年神奈川県生まれ。大学時代に現代小説を専攻。2015年に「劇団ショートホープ」を旗揚げする。俳優・脚本家だけでなく演出家としても活躍し、音響も手掛けるなど、表現者として多岐に渡って才能を発揮する。コロナ禍の現況で新しい演劇の形式を模索中。

# つむぐ

～こえをきく～



3年分の出会いを繋ぎ合わせ  
気持ちと考えの変遷をつむぐ

今回の「つむぐ」では、創刊から本誌に関わってきたこの3年間で、私の考え方に起きた大きな変化、気持ちのターニングポイントとでもいうべきことについてを書いてみたいと思います。

創刊号の取材に臨むまで、それまでの私の人生において「障がい」に関わることが一切ありませんでした。もちろん、障がいや障がいのある人たちに關する知識なども持っていませんでした。対談の時間を迎えるまで「知識の不足が相手に失礼にならないだろうか」という懸念ばかりが先に立ってしまい、正直なところ、説明の付かない不安に駆られていました。

いざ取材を始めてみたら人見知りを自認している私には珍しく、被取材者とは初対面なのに

関わらず話しが盛り上がりました。それはまるで旧知の友人とでも話しているのかのような錯覚を覚えるほどでもありました。

ふと気付いてみれば、初取材の前に感じていた懸念や不安は必要のない大いなる杞憂であったことを知るようになりました。

これ以来、自身の知識不足を気負うことを止めました。知識が無いなりにフラットな気持ちで取材しようと思った瞬間でもありました。

まずは気付くことから始める  
気付きが導く相互理解への道

ある取材の中でこんな意見を耳にしたことがありました。

「障がいを理由として権利や尊厳が毀損されている人たちも少なからず存在している」

これを聞いた時の私は、あまりにも衝撃的で肯定や否定の言葉はおろか、どう相槌を打てば良いのかさえ分かりませんでした。

さらに「尊厳とはお互いの存在を認め合っている」と「尊厳とはお互いの存在を認め合っている」と「他人を支えること」の意味があります。「支援」というと堅い感じがしますが「他人を支えること」という部分に着目して考えると、まずは「障がいによって困っている人たちがいる」ということに気付くことが必要なのだろうと思います。これに気付くことができれば、いずれは障がいや障がいのある人たちにも意識を向けられるようになるのではないだろうか考えました。

取材を重ねるうちに自身で再認識できたこともありました。それは、障がいのあるなしに関わらず、世の中に暮らす誰でも自分以外の誰かの力を借りながら生きているということ。

例えるなら、食料品店などで買い物をする時也是如此です。生産者、流通業者、輸送業者、そして販売業者など、非常に多くの人たちの助けを借りているのだと気付くはです。

人同士がお互いに支え合って、助け合うことで

社会や経済のあらゆるサイクルやルールが成り立っているはずですが、とても至極当然なことですが、この「気付き」の部分が後の私にとっては良い経験にもなりました。

それ以降、障がいのある人たちに向けて「私たちができることは何なのか？」を私なりに改めて考えてみました。

「支援」という言葉には「力を貸して助けること」「他人を支えること」の意味があります。「支援」というと堅い感じがしますが「他人を支えること」という部分に着目して考えると、まずは「障がいによって困っている人たちがいる」ということに気付くことが必要なのだろうと思います。これに気付くことができれば、いずれは障がいや障がいのある人たちにも意識を向けられるようになるのではないだろうか考えました。

これからも「他人を支えること」の意味や意義を「つむぐ」ように努めたいと思います。



知って安心!

# 心配無用

信託の精算・信託の事例



Yokohama Sogo Law Office

**YSLO**

横浜綜合法律事務所

弁護士／鈴木心

1987年東京都出身。中央大学法学部、明治大学法科大学院修了。2016年弁護士登録。2018年より横浜綜合法律事務所において交通事故、不動産問題を中心に様々な案件を取り扱う。2020年同事務所内で独立。

## 信託はどうやって終わるの？ 信託の清算について

これまで、信託がどのように開始し、どのような活用方法があるかを説明してきました。今回は「信託の終了」について説明します。

信託が終了する原因として、信託の目的の達成または不達成、新たな受託者が1年以上就任しない時、報酬・経費等の費用が不足することを理由に受託者が信託を終了させた時、裁判所が信託の終了を命じた時、信託財産が破産した時、委託者と受益者が終了の合意をした時などに「信託の終

了」になると「信託法」で定められています。

これらの事情により信託が終了すると、関係各所との契約の解除や、債権の回収、未払いの債務を支払うなどして信託財産の清算の手続を行います。この手続を行うのは、受託者(託された信託財産の管理・運用をする立場)であり、受託者は信託の終了に伴い「清算受託者」という立場に変わります。

信託契約によって清算手続後に残った信託財産でもらうものを指定しておくことができますので、指定されている場合にはその者が残余財産(※1)をもらい受けます。特に指定がなかったり、信託受領時に指定された人が亡くなっている

こともあるので、信託契約を準備する段階で、様々な事象に対応できるようなスキーム(※2)を構築しておくことが重要になります。

- ※1・残余財産とは清算手続きで債権者に弁済したあとに残った積極財産のこと。
- ※2・スキーム／計画、企画、体系、枠組み、取り組み方などを意味する。



## あのスーパーも信託を活用？ 遺される家族に対する想いを形に

総務省の調査によると、2019年9月時点の日本の総人口は、前年に比べて26万人減少している一方、65歳以上の高齢者の人口は、約3588万人で、総人口に占める割合は28.4%と過去最多となりました。

その中で、認知症予備軍も含めた認知症の割合は、約4人に1人(800万人)と言われており、

2025年には、5人に1人が認知症になるとの推計が出ています。

このような情報からすると、相続対策はもちろんですが、いつ発症するかわからない認知症対策はしっかり備えておかなければなりません。特に、障がいのある子どもを持つ親は残された家族のことは十分に考え、措置を講じておく必要性が高いと思います。

将来のことを考えて信託契約を活用した世界的なスターの事例を紹介します。

日本とは違い、アメリカの法律では、亡くなった者の財産が相続人に当然に相続されないことになっています。そのため、相続に長期間が掛かるという弊害がありました。そのような中、「キング・オブ・ポップ」と称されるマイケル・ジャクソン氏(以下、マイケル氏)は、亡くなる7年前の43歳の時に信託契約を締結していました。

マイケル氏は、本人の元気なうちに相続対策として生前信託制度を利用しました。財産の委託者をマイケル氏に、財産を管理・活用する受託者をマイケル氏が作った慈善団体に、利益を享受する受益者を3人の子ども・母・慈善団体を指定し、子ども3人については成人するまでの間は信託財産から生活費や教育費を受け取り、30歳で遺産の3分の1、35歳で2分の1、40歳で残りを渡すことにする、遺された子どもたちの生活を長期的に手厚くサポートをする内容になっていました。

マイケル氏は50歳という若さで亡くなりました



横浜綜合法律事務所

神奈川県横浜市中区日本大通11番地  
横浜情報文化センター11階  
TEL / 045-671-9521  
<http://www.breeze.gr.jp/>



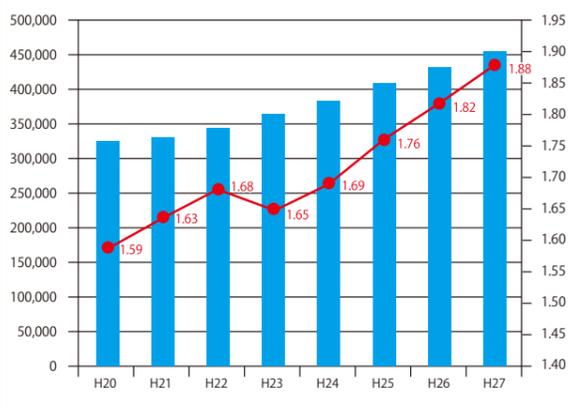
たが、将来に残された子どもを思い、子どものために相続の対策を講じています。

遺言や後見制度だけでは対応できない自身の思いや意思を将来に残すことができる制度である「民事信託」が、日本でもようやく普及してきました。

自身が亡くなってしまつ、または認知症を発症してからでは対策はできません。「財産が少ないから私には関係ない」と思われる人であっても、その財産の中で「遺された家族に何が出来るか」について、思考を停止させてはいけないのかもしれないと思います。

これまでの5回の連載を通じて民事信託について書いてきましたが、今号で民事信託の特集は終了となります。

障がい者雇用状況



障がい者就労継続支援事業

就労継続支援

A型

雇用契約を結び  
給与をもらう  
(最低賃金以上)

就労継続支援

B型

通所して工賃を  
もらう  
(授産施設平均工賃)



「働くひと」と「働くところ」  
年々増加する障がい者の雇用

まずは障がい者の雇用形態についてだが、大きく分けると一般就労と福祉的就労の2つがある。一般就労とは、民間企業や国及び地方公共団体への雇用であり、一般の人と同様の形で就労する一般雇用と、障がいがあること前提で働く障がい者雇用がある。

障がい者雇用では、労働条件や労働時間、仕事上でのサポート等を配慮してもらうことが可能となる。さらに、企業全体で障がい者の雇用を促進するため、企業には全従業員に対して一定の割

合の障がい者の雇用(法定雇用率)を義務付けた「障害者雇用促進法」というものがある。この法律は平成28年4月から新たに改正され、従業員45・5人以上の企業に対し、労働者数の2・2%(令和3年3月には2・3%)の障がい者の雇用を義務付けられている。

福祉的就労は、仕事をしたいという意欲があっても、障がいにより一般就労が難しいとされる人たちが、病気や障がいに配慮してもらいながら就職するための訓練と働く場を提供されるもので「就労移行支援事業」と「就労継続支援事業A型」と「就労継続支援事業B型」の3つに分けられる。

就労移行支援が一般企業への就職を前提とした支援であるのに対し、就労継続支援は、一般企業への就職が困難とされる障がい者へ就労の場を提供する支援である。

「移行支援」は「働くための訓練をする場」であり、「継続支援」は「働く場」そのものとなる。就労継続支援のA型とB型の区分は雇用契約を結ぶか・結ばないかの違いとなる。

A型の場合、「雇用契約を結ぶ」ということは、行った仕事に対して給料が支払われるということとであり、最低賃金も保証される。B型の場合では賃金は支払われないが、それに変わって工賃(手間賃)が支払われる。

# アライブ しようぜ!

障がい者の  
就労支援対策

最前線の生きるをアライブ  
を見つける

多くの人にとって「働く」ということは、自立したり豊かな暮らしを求めたりすることが目的であろう。それは障がいを持って生きる人たちも同じことだ。

厚生労働省はハローワークを通じた障がいのある人たちの就職率は右肩上がりが増加傾向にあると発表している。少し前のデータにはなるが、平成27年度の90191件から平成28年度は93229件(対前年度比3.4%増)となり、就職率も48.6%に上昇した。

就職率が増加した要因は、障がい者の「働きたい」という意欲の高まりと、雇用する側である企業の取り組みが拡大しているからだとも考えられる。

末吉利啓 (すえよしとしひろ)

栃木県足利市市議会議員  
プロレスラー  
1981年栃木県足利市生まれ。メキシコでのプロレス修行後の2009年に「プロレスリングアライブ」を旗揚げ。2015年に栃木県足利市議会議員選挙に出馬し初当選。現在2期目。「市議会議員プロレスラー」として活躍中。

# Information

各種の募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

## 月刊MELDIA 定期購読希望者募集

「月刊MELDIA」はフリーペーパーです。定期購読をご希望の場合に送料無料で指定の住所まで発送をしています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。



定期購読のお申し込みはこちらから

※本誌の個別発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼しています。

## 月刊MELDIA 常設設置拠点募集

一般財団法人メルディア（以下、当財団）では、広報誌「月刊MELDIA（以下、本誌）」の常設設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所の提供をお願いします。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

## 一般財団法人メルディアへの 寄付を募集しています

一般財団法人メルディアでは、私共の設立趣旨にご理解を頂いて事業の展開をご支援頂ける皆さまからの寄附を募集しています。



### 1 一般財団法人メルディアの事業目的

当法人は、障がいのある方を支援する活動と、スポーツ（サッカー等）を行う児童、青少年を支援する活動を通じて、広く人々と社会に貢献することを目的とし、次の事業を行っています。

### 2 寄附金の使途

お寄せいただきました寄附金は、当財団が行う各事業に活用させていただき、本誌上にて定期的にご報告いたします。

### 3 寄附金の募集期間

随時

### 4 寄附金額

10,000円以上任意

### 5 税制上の優遇措置について

当財団は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）」に基づいて設立された一般財団法人です。非営利型法人ではありますが、寄附金は法に定める特定寄付金に該当しないため、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象とはなりません。ご理解とご承知のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 6 寄附のお申込受付について

ご支援いただける場合は下記に記載のURLにある「寄附申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、受付登録をお願いいたします。追って、お振込み口座などの詳細について連絡を差し上げます。指定口座への入金確認ができ次第、「寄附金領収証」を発行し送付いたします。  
<https://meldia.org/business/donation/donations/>



お問い合わせはこちら

一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F  
一般財団法人メルディア 事務局／担当：後藤（ごとう）・鷺坂（さぎさか）宛て  
TEL：03-5381-3213 / MAIL：org@gf-meldia.com

ホームページとFacebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話などの情報を掲載しています。Facebookページのご留意もあります。是非とも一度、ご覧ください。

MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



アライブしようぜ! 最前線の生きるを見つける

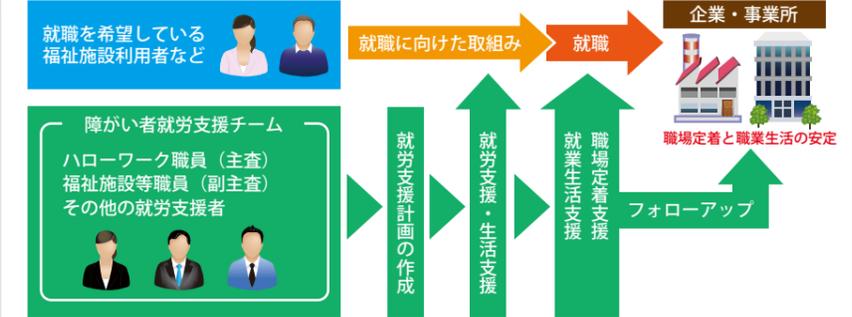
# アライブ しようぜ!

障がいの  
就労支援対策



## 障がい者就労に向けたハローワークを中心とした「チーム支援」

福祉施設等の利用者をはじめ、就職を希望する障がい者個人に対してハローワーク職員と福祉施設等の職員、その他の数老支援者がチームを組んで、就職から職場定着までの一貫した支援を実施



**仕事と障がい者を結ぶためのハローワークによる雇用支援**

一般的に「仕事を探す」といえば、真っ先にハローワークが思い浮かぶだろう。ハローワークでは、障がい者専門の窓口の設置や、障がい者の求職登録を行い、専門の職員・職業相談員が職業相談や職業紹介、職場適応指導などを実施している。就職を希望する障がい者に対して、ハローワークが中心となって、障害者就業・生活支援センター、地域障害者職業センター、就労移行支援事業所、特別支援学校、医療機関等の関係機関からなる「障害者就労支援チーム」を作って、就職に向けた準備から職場定着までの一貫した支援を行う「チーム支援」を実施している。

その他にも、ジョブコーチ（※が職場に向いて、障がい者と企業の双方に対し助言や支援を行い、障がい者の職場適応、定着を図ることを目的とした支援や、短期間の試行雇用（トライアル雇用）を通じて、適正や能力を見極め、継続雇用への移行を促進する制度がある。因みに、トライアル雇用で障がい者を試行的に雇い入れた事業主への助成金（障害者トライアル雇用奨励金）や、ハローワークなどの紹介により障がい者を雇用した事業主への助成金（特定求職者雇用開発助成金）などがあり、企業の積極的な活用を促している。

そもそも「労働」は、障がいの有無に関わらず生

※ジョブコーチ／職場適応援助者。障がい特性や個性を踏まえ専門的な支援を行う。厚生労働大臣が定める所定の研修を修了した者を指す。



末吉としひろホームページ  
<http://sueyoshi-toshihiro.com/>



存権を実現するための基本的な人権の一つである。2006年に国連で採択され、日本が2014年に批准した「障害者の権利に関する条約」にも、労働が障がい者の権利の一つとされている。「働く」ということは、誰かの役に立ち、人に必要とされ、自分が社会の一員としての誇りを持つことではないだろうか。

近年の障がい者雇用の増加や様々な制度の整備により、これまでは保護を受ける側であった障がい者が、積極的に社会に出て、人のために働き、周囲の人たちと相互に補完し合いながら、お互いを必要とする社会になっていくことが期待されるだろう。

被取材者、取材者、編集部、関係者などの安全面および衛生面に最大限の配慮をし、記事の一部を既刊号で取材した内容を再構成して掲載しています。

※編注／記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

# 湘南ベルマーレ

## ホームゲーム観戦チケットプレゼント

SHONAN BELLMARE  
JAPAN PROFESSIONAL FOOTBALL LEAGUE

©1993 SHONAN.BM

### ■ホームゲーム一覧

開催日	キックオフ	対戦相手	申込メ切
10/18(日)	15:00	柏レイソル	10/4(日)
メルディアグループ三栄建築設計スペシャルデー			
10/31(土)	15:00	横浜FC	10/17(土)
11/11(水)	19:00	横浜F・マリノス	10/28(水)

10/31(土)の横浜FC戦はメルディアグループ三栄建築設計のスペシャルデーが開催されます。試合当日は一般財団法人メルディアのブースを出店し広報誌の配布を行います。シークレットゲストの来場もあるかも!?

療育手帳・精神障害者  
保健福祉手帳をお持ち  
の方と、介添者の方1  
名を湘南ベルマーレの  
ホームゲームに抽選で  
ご招待いたします!

### ■応募から観戦までのステップ

STEP  
1

応募

HPの応募フォームへ  
必要事項をご入力



応募フォーム  
はこちら

https://meldia.org/present/

ホームページからも応募できます

財団 メルディア 🔍 検索

STEP  
2

メール

応募完了メールが  
届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方は「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話ください。よろしくお願いいたします。

STEP  
3

抽選

当選者へチケットを  
お送りします

当選者の方へ当選メールを送信後、応募フォームにご入力頂いたご住所宛にチケットをお送りいたします。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

STEP  
4

観戦

スタジアムへGO!

チケットに記載のゲートよりご入場ください。どうぞ観戦をお楽しみください!



※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。併せてご了承ください。

### ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレHPをご覧ください



JR 東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行



圏央道寒川南ICより湘南銀河大橋、国道129号線経由で約15分(国道129号線に随時「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

### ■お問い合わせ先■

一般財団法人メルディア 事務局 担当:後藤/鷺坂(さぎさか)

TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日~金曜日 9:30~18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承ください。

# 35 MELDIA CONTENTS 2020 NOV.

## 01| 障がい者を応援

わらくや/栃木県真岡市

## 06| 一般財団法人メルディアとは?

メルディアの基本理念、財団概要、支援事業

## 07| 福祉事業所探訪

わーくはびねす農園Plus東京板橋/東京都板橋区

## 11| WelSearch/ウェルサーチ

当事者・専門家たちが発信する福祉の情報サイト

## 15| 水越けいこ連載「M size / はじまり」

水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る

## 17| 布施博が訊く/特別対談

布施博と水越けいこによる対談

## 21| つむぐ

障がいのある人たちの「こえをきく」

## 23| 弁護士・鈴木心の「心配無用」

横浜総合法律事務所/弁護士・鈴木心

## 25| アライヴしようぜ!

障がいのある人たちの最前線の「生きる」を見つける

## 28| 募集と告知

各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

被取材者、取材者、編集部、関係者などの安全面および衛生面に最大限の配慮をし、本号に掲載の一部記事においてはWEB会議システムを利用したリモート取材を行いました。また、今号の一部記事においては既刊号の内容を再構成して掲載しています。

月刊 MELDIA Vol.35 / 2020年9月25日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア

発行人 / 小池信三

事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章

編集 / 株式会社 サン・オフィス

編集人 / 東宮恵美

編集長 / 山口慎市

進行 / 谷田貝亘介

編集部 / 株式会社 サン・オフィス/制作部&メディア事業部

ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、中野優希、鈴木心、末吉利啓、

森清香、大橋はるか、渡邊希望、梶原あやめ

カメラマン / 吉岡晋

ヘアメイク / 株式会社Dharma

デザイン / 有限会社フレッシャー・アド

印刷製本 / タイヘイ株式会社

協力 / MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計、

わらくや、Win Graffiti株式会社、ハコニワファーム、與良だいち、

株式会社エスプールの、株式会社エスプールの、

わーくはびねす農園Plus東京板橋、

株式会社Nextwel、日野信輔、WelSerach、

プロレスリングアライヴ、

横浜総合法律事務所、

株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、

株式会社Dharma

※敬称略/順不同



編集部Twitter/https://twitter.com/MELDIAEdition/



本誌の無断転載・複製を禁じます

2017-2020©All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア/月刊MELDIA

MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 / SAN OFFICE



次号予告

MELDIA VOL.36

2020年10月25日発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632

東京都新宿区西新宿 1-25-1

新宿センタービル 32F

一般財団法人メルディア 事務局

TEL: 03-5381-3213

MAIL: org@gf-meldia.com